

# 千葉・埼玉・群馬 浄水場から化学物質

## 柏市・野田市で断水



給水のために市水道部に集まった市民ら  
19日午前10時過ぎ、千葉県野田市中根

### 利根川4地点で高数値

利根川水系から取水する浄水場で国の基準（1リットルあたり0.08ミリグラム）を超える化学物質ホルムアルデヒドが検出された問題で、千葉県野田市と柏市は19日、前日から取水停止が続いていることなどから断水を開始した。19日正午までに取水停止を実施した浄水場は埼玉県、群馬県を含め

#### 数日間飲んでも健康に影響ない

化学物質の人体への影響に詳しい浦野紘平・横浜国立大学名誉教授（環境安全管理学）の話。ホルムアルデヒド



て5カ所に上る。各県は原因の特定を急ぐなど対応に

ドの基準値は70年間飲み続けても健康に害がないように設定されている。基準の2倍程度の水を数日間飲んでも健康には影響ない。塩素消毒による化学反応で発生したか、工場排水が原因として考えられる。

追われた。

同日正午現在、取水停止が続くのは上花輪浄水場（千葉県野田市）と北千葉浄水場（同県流山市）。約6万3千世帯が住む野田市では午前9時半からほぼ全域の約4万7千世帯で断水。上花輪浄水場で前日から取水停止が続き、早朝から使用量が伸びたことなどから断水に踏み切った。

市内には2カ所の給水場所が設けられ、水を求めて市民が集まった。2リットル入り容器4個を満タンにした主婦（35）は「困りました。早く復旧してほしいです」と話した。

柏市でも正午から断水が始まった。夕方にかけて、我孫子市や八千代市、船橋市などでも断水の恐れがあるという。

行田浄水場（埼玉県行田市）で基準の約2倍が検出され、給水を停止していた埼玉県は19日朝、基準を下

回ったとして給水を再開。

同日によると、群馬県とともに18日から、同浄水場が取水する利根川上流の計7地点で水質を調査し、埼玉県熊谷市や群馬県高崎市など4地点で通常より高い

数値が測定されたという。

埼玉県では、浄水場の塩素と反応してホルムアルデヒドが生成される化学物質

が原因の可能性があるとみている。利根川支流の烏川（群馬県）周辺に、この物

質を取り扱う会社が複数あるとの情報があり、群馬県や高崎市が調査をしているという。

ホルムアルデヒドは合成樹脂の原料や農薬などに使われる。シックハウス症候

群の原因物質の一つで、発がん性も指摘されている。国土交通省関東地方整備局

は「これほど広範囲での検出は過去に例がない。各自治体と連携して原因の究明を急ぎたい」としている。